



## 2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月11日

上場会社名 株式会社クリーマ 上場取引所 東  
コード番号 4017 URL <https://www.creema.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸林 耕太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート (氏名) 伊藤 彩紀 TEL 03(6447)0105  
ディビジョンGM  
四半期報告書提出予定日 2024年1月11日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の連結業績 (2023年3月1日～2023年11月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	1,807	1.5	△6	—	14	—	1	—
2023年2月期第3四半期	1,780	6.8	△318	—	△317	—	△319	—

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 1百万円 (—%) 2023年2月期第3四半期 △319百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	0.23	0.23
2023年2月期第3四半期	△47.68	—

(注) 2023年2月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	3,500	922	26.3
2023年2月期	3,433	919	26.8

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 922百万円 2023年2月期 918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点において、2024年2月期の配当予想額は未定であります。

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,793	11.7	1	—	21	—	6	—	1.00

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年2月28日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。  
 3. 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第3四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	6,733,100株	2023年2月期	6,721,100株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	43株	2023年2月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	6,726,860株	2023年2月期3Q	6,707,351株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2024年1月11日（木）にSBI証券のウェブサイトにて機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの説明会をライブ配信で開催し、四半期決算補足説明資料を当社のウェブサイトに公開します。

また、四半期決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、「まるくて大きな時代をつくろう」を企業理念に、その実現に向けた第一弾の事業として、クリエイターエンパワーメント事業を推進しております。

日本ならびに中国語圏におけるグローバルハンドメイドマーケットプレイス「Creema(クリーム)」の運営を行うマーケットプレイスサービス、「Creema」のプラットフォームを活用し、出店クリエイター・企業・地方公共団体のマーケティング支援を行うプラットフォームサービス、日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes' (東京ビッグサイト)」等の大型イベントを開催するイベントサービス、さらには、クリエイターの創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」、人気アーティストがレッスン動画を販売する動画プラットフォーム「FANTIST」等、クリエイターの活動を支援するサービスを様々な角度から展開し、まだ見ぬ巨大なクリーム経済圏の確立と、クラフトカルチャーの醸成に力を注いでおります。

マーケットプレイスサービスにおいては、入園入学といったライフイベントや、母の日やクリスマス等の季節のトレンドを捉えた各種マーチャンダイジング・キャンペーン施策を展開する等、クリエイター作品の魅力を訴求する様々な企画を実施しました。また「Creema」のユーザーインターフェース改善、検索機能の拡充、インフラ基盤の強化をはじめ、プロダクト面においても多面的な強化を推進しました。加えて「Creema」及びハンドメイドマーケットプレイス市場の認知拡大を目的に、前期より今期3月にかけてTVCMを複数回放映してきましたが、並行してデジタルマーケティングの改善によるROASの向上にも取り組んで参りました。その結果、当該サービスの広告宣伝や販売促進に係るプロモーション費用を前年同期比58%にまで大幅に圧縮しながらも、マーケットプレイスサービスの流通総額は122.4億円(前年同期比100%)、売上高は1,193,152千円(前年同期比100%)での着地となりました。なお、当第3四半期連結累計期間におけるクリエイター数は約27万人、登録作品数は約1,690万点、スマートフォンアプリのダウンロード数は約1,460万回を突破しております。

プラットフォームサービスにおいては、「Creema」のプラットフォームならびにユーザー基盤を活用した企業・地方公共団体向けのPR支援を行う外部広告サービスにて、大手商業施設とコラボレーションしたクラフトイベントの開催や、海洋プラスチックごみの一因とされる“廃棄漁網”をアップサイクルするSDGsプロジェクトの実施、地方自治体と連携した各種地方創生プロジェクト等、当社にしかできない様々なPR企画をクライアントに対し提案・実現してきました。また、クリエイターが自身の作品を「Creema」上でプロモーションできる内部広告サービスでは、広告サービスの利用者数を増加させるべく、プロダクトの改善とその普及に努めました。その結果、プラットフォームサービスの売上高は485,192千円(前年同期比112%)での着地となっております。

イベントサービス(旧イベント・ストアサービス)においては、2023年7月22日・23日に日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes' (2023)」を開催し、多くのクリエイター・来場者の方々にご参加いただき、コロナ前の全盛時に近い水準にまで活況を取り戻すことができました。一方で、前年同時期には、本年1月をもって全店閉店となったストアサービス(Creema Store)の売上が計上されていたこと、また今年度の開催を見合わせた音楽とクラフトの野外フェスティバル「Creema YAMABIKO FES」の売上も計上されていたこと等から、今期はその売上分の下方圧力があり、売上高は73,316千円(前年同期比55%)で着地いたしました。なお、今年度の開催を見合わせた「Creema YAMABIKO FES」については、来年度の2024年3月に、時期・会場を変更して開催予定です。

当社グループの中長期的な成長を企図し、戦略的な先行投資を拡大している新サービス群では、クリエイターやものづくり事業者の創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」において、引き続き多様なプロジェクトが起案され、その多くが目標支援金額を達成しております。また、クリエイターがレッスン動画を販売する動画プラットフォーム「FANTIST」においては、参加クリエイター数・出品動画数ともに順調に成長していることに加え、初学者向けに体系的なレッスンを提供するコースレッスン動画も順調に拡張いたしました。結果として、売上高は55,968千円(前年同期比297%)と大幅な成長を続けていることに加えて、クリーム経済圏の拡大に向け、更なる新サービスのリリースに向けた開発を進めております。

これら全てのサービスを連携させることにより、ユーザー価値の最大化を図ると同時に、当社グループのサービスの認知度向上及び市場の拡大、クリーム経済圏の確立に取り組んで参りました。その結果、当第3四半期連結累計期間における全社業績については、売上高は前年同期比102%となる1,807,785千円で着地いたしました。また、期初開示の通り、今期は新規事業領域及びシステム領域への成長投資を継続させておりますが、営業損失は6,408千円(前年同時期から312,089千円の増益)、イベントサービスに係る補助金収入が計上された関係で経常利益は14,818千円(前年同時期から332,197千円の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,556千円(前年同時期から321,365千円の増益)となり、いずれも前年同時期との比較では大幅な増益となっております。

なお、当社グループでは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,500,266千円となり、前連結会計年度末に比べ66,777千円増加いたしました。主な増減要因は、売掛金が44,037千円、未収消費税等が39,904千円、ソフトウェアが26,690千円、未収還付法人税等が21,587千円減少した一方で、借入に伴い現金及び預金が196,131千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,577,527千円となり、前連結会計年度末に比べ63,445千円増加いたしました。主な増減要因は、預り金が134,539千円減少した一方で、借入に伴い長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が197,266千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、922,738千円となり、前連結会計年度末に比べ3,332千円増加いたしました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,556千円の計上により利益剰余金が増加したことと、新株予約権の行使による株式の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ812千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想については、2023年4月14日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,374,843	2,570,974
売掛金	673,112	629,075
未収還付法人税等	21,587	—
その他	71,835	38,712
流動資産合計	3,141,378	3,238,761
固定資産		
有形固定資産	24,317	22,435
無形固定資産	148,991	121,568
投資その他の資産	118,801	117,501
固定資産合計	292,110	261,505
資産合計	3,433,488	3,500,266
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	194,016	215,087
未払金	211,044	136,846
未払費用	66,148	45,876
未払法人税等	—	22,586
前受金	81,650	115,412
預り金	1,708,767	1,574,227
賞与引当金	—	6,687
ポイント引当金	23,072	11,910
その他	36,603	84,845
流動負債合計	2,321,302	2,213,480
固定負債		
長期借入金	187,852	364,047
その他	4,928	—
固定負債合計	192,780	364,047
負債合計	2,514,082	2,577,527

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	539,678	540,490
資本剰余金	1,960,798	1,961,610
利益剰余金	△1,580,886	△1,579,329
自己株式	△228	△228
株主資本合計	919,363	922,543
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△610	△457
その他の包括利益累計額合計	△610	△457
新株予約権	652	652
純資産合計	919,405	922,738
負債純資産合計	3,433,488	3,500,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 3月 1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 3月 1日 至 2023年11月30日)
売上高	1,780,677	1,807,785
売上原価	430,237	370,771
売上総利益	1,350,440	1,437,014
販売費及び一般管理費	1,668,937	1,443,422
営業損失(△)	△318,497	△6,408
営業外収益		
受取利息	28	132
為替差益	69	531
預り金精算益	5,635	4,128
補助金収入	—	19,226
その他	554	2,518
営業外収益合計	6,287	26,538
営業外費用		
支払利息	5,168	5,311
営業外費用合計	5,168	5,311
経常利益又は経常損失(△)	△317,379	14,818
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△317,379	14,818
法人税、住民税及び事業税	2,430	13,262
法人税等合計	2,430	13,262
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△319,809	1,556
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△319,809	1,556



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 3月 1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 3月 1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△319,809	1,556
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	677	152
その他の包括利益合計	677	152
四半期包括利益	△319,131	1,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△319,131	1,708
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。